

部局名	安全環境部	所属名	戸籍住民課	所属長名	目良 太一	電 話	483-1151 内線：3120
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	------------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3087		事務事業名称	勝田台市民文化プラザ維持管理事業					短縮コード	経常	3087	臨時	3670
予算区分	会計	01	一般会計	款	02	総務費	項	03	戸籍住民基本台帳費	目	02	支所費	
区 分	☐ 自治事務 ☐ 法定受託事務			根拠法令等		消防法・電気事業法等							
☒ その他													
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
・昭和62年に既存の支所・自治会館・消防署・交番の建て替えに伴い、図書館・文化センターを加えた複合施設を建設し、勝田台支所と図書館等の専有部分を除く共有部分の保守・管理を行っている。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	06	計画推進のために						
・昭和62年に建設された施設で当時としては、住民要望に応えたグレードの高い建築物であるが、管理していく側としては、割高の修繕等に苦慮している。					大項目（節）	01	パートナーシップによる市政運営と市民自治の推進						
					中 項 目	03	市民サービスの向上を図る行財政運営の確立						
					小項目（施策）	01	効率的な行政運営の確立						
					細 項 目	02	組織機構などの簡素化						
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	・勝田台市民文化プラザ建物							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成17年度に実際に行ったこと： ①建物本体管理 ②共用部分の床清掃 ③駐車場の管理 ④共用部分の便所管理 ⑥館内監視及び警備 ⑦関係設備管理 ⑧支所部分管理							
	※平成18年度に計画していること： 17年度と同じ							
意図 （何を狙っているのか）	・事故事件が発生しないよう最善を尽くして施設管理を行い、 故障が原因で施設の利用が不可能にならないよう適切に管理する。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	施設の適正な管理を図ることにより、市民の交流の拠点及び情報の提供の場を確保する。							
区 分				単位	16年度	17年度		18年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	市民文化プラザ	棟	1	1	1	1	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	管理日数	日	359	359	359	359	
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	建物の不具合を理由とする事故件数/管理日数	%	0	0	0	0	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	3087	事務事業名称	勝田台市民文化プラザ維持管理事業			所属名	戸籍住民課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			・現行水準の維持が適切である。		
		☐ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
☐ 廃止							
☐ 休止							
☒ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			・突発的な事故等による修繕が発生しなければ、現行水準を維持していく
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☐	☐	
			不 変	☐	☒	☐	
			低 下	☐	☐	☐	

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
・利用者から駐車スペース（車）が不足しているとの苦情がある。 ・入り口前の歩行者道路において違法駐車自転車が歩行の妨げになっている。	

所属長コメント	昭和62年建設以来約20年経過し、委託先、委託内容の見直し等による経費の縮減を図っているが、今後も施設の老朽化に伴う修繕、保守管理等に要する経費は年々増加するものと思われます。	
評価調整委員会意見	☐ 改革改善して継続	今後は有効性と効率性を検討していくべき。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☐ その他		
☐ 廃止		
☐ 休止		
☒ 現状のまま継続		